

市民の期待を受け

市議会の 新体制スタート



副議長
小林 健志

産業建設
広報



議長
岡田 初雄

にしはりま 宍粟環境
三土中学校

5月3日投開票の市長・市議ダブル選挙の結果をつけた宍粟市議会新体制が、5月22日から始まった第28回定例会初日に決まりました。改選前25名のうち10名が退任、5名の新人を加えた20名体制での出発です。新しい田路市政に対する「厳しいチェック」と「最良の施策の推進」を肝に銘じながら、岡田議長をはじめ気を引き締めています。

就任あいさつ

議長 岡田初雄

梅雨の谷間に初夏の風が、庭先のみまわりの葉を大きく揺らしています。宍粟市の夏の始まりであります。

宍粟市誕生から5年目、2期目の始まりは、市長も交代となり、議会議員の定数も26名から6名減の20名となりました。当然、議員に対する市民の皆様への期待はより以上に大きいものがあると考えます。合わせてその責任の重さは、計り知れないものがあります。そのような中で、私共が、議長、副議長の職をお預かり致す事となりました。基より浅学非才で、その器ではございませんが、皆様の知恵と知識をお借りしながら、与えられました職責を全う致す覚悟でございます。

これまでの、4年間を検証しながら、市政を推進することを政治姿勢に上げられました田路市政の始まりであります。

依然として財政は厳しい状況にあります。厳しい財政の中であれば又、当然、議会と行政の中に緊張感が生まれます。この緊張感は又、立場を超えて議論が深まるものと考えます。

議会と行政は、両輪であることに違いはありませんが、議会は議論の府であり、その、職務は行政に対する監視にもあります。更に、市民の皆様の想いを市政に届けることにもあります。

選ばれた20名の議員であります。ひたすら、安心安全を求め、住みつつけることに誇りを持ち、住んでみたいまちづくりに取り組んで参ります。

ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。